

新型コロナウイルス感染症に関する今後の対応について

令和4年1月14日

大分県新型コロナウイルス感染症対策本部

大分県社会経済再活性化緊急推進本部

1. 感染の状況

県内では、年明けに約2か月ぶりの感染者が確認されて以降、日毎に感染者数が増加しています。これまでの感染者のうち、感染力の強いオミクロン株は疑いも含め9割を超えており、明らかに置き換わりが進んでいます。本日の感染者は92名、これまで感染者はまず入院治療の方針を取ってきたこともあり、病床使用率は24.0%となっています。総合的にみて、ステージ2の状態にあると判断します。オミクロン株の感染力を踏まえれば、今後も当分の間は、予断を許さない状況にあるものと考えます。

2. 検査体制及び医療提供体制

検査体制については、498の医療機関等で1日あたり最大約1万5千件の検査が可能となっています。発熱等体調が優れない方は早期の受診・検査をお願いします。また、無症状でも感染の不安を感じる方に対しては、県内12か所で無料検査を行っています。加えて、クラスター対策として感染の早期探知のため、社会福祉施設等に抗原検査キットを配布しています。不足する場合は追加配布しますので、積極的に活用してください。

医療提供体制は、受入病床を508床確保するとともに、宿泊療養施設も3施設444室を開設しています。年明けからの感染者数は本日の公表を含め361名に達していますが、中和抗体薬や新たな内服薬の投与等により、幸い重症者は一人もいません。軽症者や無症状者の宿泊療養体制を強化するため、1/18に大分市内に2施設280室を開設するとともに、さらに中津市や日田市でも開設を準備中です。

県としては、引き続き検査体制及び医療提供体制の強化に全力を挙げていきますが、県民の皆様には感染拡大の防止に向けて、下記の実施体制に対して、ご理解・ご協力をお願いします。

3. 基本的な感染対策の徹底

これまでお願いしてきた基本的な感染対策は、オミクロン株にも有効です。特に、エアロゾル対策で重要な、常時の換気と不織布マスクの適切な着用をお願いします。

また、新学期が始まった学校においては、基本的な対策の徹底に加え、抗原検査キットの積極的活用や、生徒等の本人はもとより家族も含め体調が悪い場合には躊躇なく学校を休むなど、感染拡大防止に努めてください。高校については、通学途中の密集を避けるため、1/19から登校時のバス輸送を行います。子どもたちを守るためにも、ご協力をお願いします。

4. 移動

全国的に感染が急増している昨今の状況を踏まえ、感染が拡大している地域への移動に関しては、慎重に判断してください。

5. 会食

年明けからの感染例には会食に起因するものも含まれています。また、会食によるクラスターも発生しています。会食を行う場合は、換気等の感染対策を徹底している「安心はおいしいプラス」の認証店を選んでください。さらに、会話時のマスク着用、例えば1テーブル4人以下とするなど密にならない配席の工夫、席の移動を行わない等の感染対策をお願いします。

6. カラオケ

カラオケはエアロゾル感染のリスクが極めて高く、これまでクラスターが多発しています。業界のガイドラインを遵守した店を選んで、マスクを着用して、例えば個室においてご家族で利用するなど、十分な感染対策をお願いします。

7. ワクチン

オミクロン株に対しても、ワクチン接種による重症化予防の効果は期待されます。さらに、発症予防効果を高めるために、3回目接種を急ぎます。県営接種センターを1/20から再開し、まずは感染者に接

する可能性が高い職種の方から接種を進めます。

8. 結び

オミクロン株の感染力は強力です。警戒感を高め、感染対策をより一層徹底してください。ご自身だけでなく、大切な方のためにも、早期の受診・治療が重要です。繰り返しになりますが、少しでも異変を感じたら、躊躇することなく、医療機関にご相談ください。